

2024 年度事業報告

(期間：2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

2024 年度は、①啓発事業においては、国内外の対象者に向けて対面・オンラインによる啓発活動を実施した。また、メディアに取り上げられ記事が公開された。

②自立支援事業においては、2022 年度より継続して実施している責任あるダイヤモンド採掘のリフレッシュワークショップを実施した。養蜂活動ではウィズア村の優秀な普及員を講師として育成する目的も兼ね、バーマ村で養蜂基礎研修を行った。ウィズアでは、アグロフォレストリー活動や養蜂活動、魚の養殖活動についても収入源の多様化と環境保護を目的に継続してモニタリングを実施している。養殖した魚、はちみつ共に収穫することができた。地域の衛生活動に関しては、ウィズア村でこれまでに建設した公共トイレ及び修繕した小中学校のトイレ 1 棟の使用状況及び維持管理のモニタリングを行い、正しい使用を促進した。

④その他の事業では、講師としての講演やコンサルティング事業を実施した。

主な事業内容は以下のとおりである。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア ウェブサイト、SNS、機関紙、メールマガジンによる啓発活動

・内容

Facebook、Instagram、X、Linkedin 等の SNS を用いて、活動の進捗報告やイベント開催等を定期的に周知した。

また、機関紙「The Journey」第 8 号（2024 年 6 月発行）を発行し、キャンプアルファ村で開催した探査基礎研修、ウィズア村ブペで開催した採掘実践研修、ウィズア村小中学校のトイレ修繕支援について紹介した。また、運営メンバー、法人会員や寄付者、ボランティアを同機関誌にて紹介した。同機関紙は英語と日本語の併記で、日本・海外における広報啓発ツールとなっている。なお、機関紙は紙面の配布に加え当法人ウェブサイトからもダウンロードすることができる。

- ・日時 2024 年 4 月～2025 年 3 月
- ・場所 当法人事務所他
- ・従事者人員 のべ 15 人
- ・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebook ページ、Instagram アカウント、X、LinkedIn ページにアクセスする者およびメールマガジン購読者 のべ 148,494 人
- ・支出額 71,500 円

オンラインの媒体	投稿数/配信数	リーチ数（訪問数）	備考・詳細等
日本語ウェブサイト	10	31,400	46,111 (PV)
英語ウェブサイト	8	9,018	12,258(PV)
Facebook ページ	95	16,989	--
Instagram	74	5,383	--
Linkedin	42	6,481	--
日本語メールマガジン	5	3,040	のべ購読者数
英語メールマガジン	5	1,589	のべ購読者数
機関紙 「The Journey」	1	1,972	937（紙面配布数） 1,035(ダウンロード数)*
合計	240	75,872	--

*本報告書執筆時点までのダウンロード数

イ 講演・講義活動

・内容

2024 年度は、オンラインで講義を実施した。講演の内容は、対象者及び主催者の意向により、ダイヤモンドやサプライチェーン上の課題を取り上げた。

- ・日時 2024 年 5 月
- ・場所 オンラインまたは講演会場
- ・従事者人員 のべ 4 名
- ・受益対象者 大学教員、大学生、イベント参加者 計 245 名
- ・支出額 15,000 円

●講演・講義活動実績

No.	開催日	講演主催者/ イベント名	講演内容	講演者	参加人数
1	5 月 17 日	神田外語学院	「国際協力論」における DFP 活動紹介	山岸真希	5 名
2	9 月 2 日	London Jewelry Show	責任ある宝飾の原料調達に関 する現状と当会の活動	Beth West	20 名
3	11 月 7 日	Sustainable Art Practices	責任ある宝飾の原料調達に関 する現状と当会の活動	村上千恵	20 名

4	1月24日	パナソニック基盤強化フォーラム	過去の助成事業と人材基盤について	村上千恵	50名
5	2月1日	AGTA Show	アンティークジュエリー鑑定と当会の活動紹介	Celine Rose David	150名
合計					245名

ウ. イベント出展

・内容

日本国内のイベントに出展し、ダイヤモンドサプライチェーンにおける問題や当会の活動を啓発した。

- ・日時 2024年5月～2025年1月
- ・場所 下表参照
- ・従業者人員 4人
- ・受益対象者 イベント出席者 主に宝飾業界関係者、サステナビリティに関心のある社会人・学生等 100人
- ・支出額 67,730円

●外部イベントへの出展

N o	開催日	イベント名	DFP 出展内容	形態・場所	参加人数
1	9月29日～30日	グローバルフェスタ	ブース出展による活動紹介	対面（東京）	100名
合計					100名

エ 他媒体への掲載

・内容

2024年度も、他媒体からDFPの活動内容を掲載したいとの依頼があり、インタビューや情報提供するなどして協力した。

- ・日時 2024年4月～2024年5月
- ・場所 当法人事務所他
- ・従業者人員 2人
- ・受益対象者 世界で手掘りダイヤモンド採掘に従事する労働者およそ1,300万人 及び掲載された記事の読者推定数19万人
- ・支出額 0円

No	掲載日	発行社名	媒体名	内容	掲載場所	推定リーチ数*
1	4月下旬	英国宝石学協会	Gems & Jewellery	女性リーダー特集	雑誌、ウェブサイト	6,000
	5月8日	朝日新聞	朝日小学生新聞	ダイヤを武器にかえないためにできること	新聞	105,161
2	5月上旬	GIA（米国宝石学協会）	GEMS & GEMOLOGY	リベリアで採掘されるルビーのその後	雑誌ウェブサイト	37,714
3	5月12日	朝日新聞	朝日中高生新聞	ダイヤを紛争の資金源にしないためにできること	新聞	41,166
合計						190,041

*推定リーチ数は、当会独自の算出方法による。

② 自立支援事業

ア 責任あるダイヤモンド探査・採掘の基礎

・内容

2024年度は6月20日から6月21日にかけ、普及員候補の組合リーダー達計10名（のべ20名）を対象に、責任あるダイヤモンド採掘の基礎を復習するリフレッシュワークショップを開催した。この中では、環境へのダメージを最小限に且つ効率的に採掘するために必要だが苦手な人が多い地図の作成と読み方について特に実践的に復習し、ダイヤモンドのサプライチェーンや組合活動に必須の会計帳簿の付け方、ビジネスプランの考え方も含め指導した。本ワークショップは専門家を雇用せず、当会スタッフが講師となり行った。

当会現地スタッフが活動対象村を訪問時に探査や採掘モニタリングを定期的に行った。2025年3月末時点で、責任ある採掘方法・閉山を取り入れている採掘チームは1チーム（6名）、責任ある探査方法を取り入れている採掘チームは1チーム（5名）である。組合活動に必須の記帳技術については、その時により差はあるが概ね実践されており、間違いがあれば当会現地スタッフが指摘し修正している。

- ・日時 2024年4月～2025年3月
- ・場所 リベリア共和国バポル州ウィズア村、バーマ村、キャンプアルファ村
- ・従事人数 5人
- ・受益対象者 ウィズア組合員、バーマ組合員、キャンプアルファ組合員のべ約60名
- ・支出額 1,500,020円



研修のグループ演習の様子



研修で議論する様子

イ アグロフォレストリー研修・モニタリングの実施

・内容

2022年度・2023年度に雇用したアグロフォレストリー専門家を2024年度も雇用した。2024年6月から2025年2月にかけて、計6回の研修をファーマーフィールドスクール(FFS)形式で開催しのべ261名が参加し、うち基準をクリアした17名に修了書を授与した。本研修にはウィズア村組合員の他、村の農民、バーマ組合のリーダーも参加した。また、参加者の6割が各自が所有する畑で、研修した事柄のうちいずれかの技術を実践していることを、畑を訪問して確認した。

2025年3月末現在、ウィズアの組合が267本のオレンジの苗木を育てている。うち、55本をアグロフォレストリー圃場に移植済である。組合員が苗や作物に定期的に水やりや手入れをしているかをモニタリングし、不足している場合には励ましや介入を行った。

- ・日時 2024年4月～2025年3月
- ・場所 リベリア共和国バボル州ウィズア村
- ・従事者人員 6名
- ・受益対象者 ウィズア採掘農業組合員約50名及びバーマ組合の組合員約50名
- ・支出額 2,200,100円



アグロフォレストリー研修の様子



圃場の作物に水やりをする様子

ウ 養蜂普及員の育成及び養蜂技術基礎研修・フォローアップ活動の実施

ダイヤモンド採掘者の安定した収入源を確保するために 2020 年より養蜂活動を支援している。ウィズア採掘農業組合は村に広がる森林に巣箱を設置し、2025 年 3 月時点で約 20 名がダイヤモンド採掘の傍ら、養蜂に取り組んでいる。養蜂活動の普及を促進し他の養蜂家への技術指導を行うため、養蜂活動に熱心な組合員 8 名を養蜂普及員に認定し育成を行っている。中でも特に優秀な 2 名をさらに育成するため、養蜂基礎研修講師となるための訓練を 6 月と 1 月に行った。その技術を実践するため、6 月と 2 月にバーマ村でバーマ村とキャンプアルファ村の組合員を対象に当会スタッフが監督の下、養蜂基礎研修を行った。6 月の基礎研修には 17 人、2 月には 22 人が参加し、巣箱を合計 35 箱作成した。また、バーマ村とキャンプアルファ村の養蜂普及員候補 4 名と当会現地スタッフ 1 名の合計 5 名が、ユニバーサルアウトリーチファウンデーションが 2025 年 3 月にボミ州で開催した収穫研修に参加した。2025 年 3 月末時点で、設置されている巣箱は合計 223 箱（ウィズア村、バーマ村、キャンプアルファ村の合計）、そのうちミツバチが棲み着いた巣箱数は、合計 38 箱である。巣箱を設置する養蜂場は昨年度から 3 箇所増え合計 14 箇所になった。また、2025 年 1 月から 3 月にかけて計 25 ガロンのハチミツを収穫し（ウィズア村 24 ガロン、バーマ村 1 ガロン）、約 12 万円の収入増加を見込んでいる。

- ・日時 2024 年 4 月～2025 年 3 月
- ・場所 リベリア共和国バボル州ウィズア村、バーマ村
- ・従事者人員 6 名
- ・受益対象者 ウィズア採掘農業組合員、バーマ組合員、キャンプアルファ組合員合計約 60 名
- ・支出額 1,956,250 円



養蜂基礎研修の様子



ハチミツ収穫の様子

エ 公共トイレ第 1 号棟・第 2 号棟、修繕した学校トイレのモニタリング

・内容

ウィズア村の住民の約 8 割は自宅にトイレがなく森や川で排泄しており、現地の環境破壊は深刻であった。トイレの建設は地域が解決したい第一の優先課題として挙げていたため、当会は 2021 年度にスリップウェイ集落において最初の公共トイレの建設を支援し、21 世帯（21 世帯 x7 名(1 世帯平均)=147 名)の住民が使用している。2022 年度はマンディンゴ集落からの要望を受け、公共トイレ第 2 号棟の建設を支援し、30 世帯(30 世帯 x7 名(1 世帯平均)=210 名)の住民が使用している。

トイレの維持管理に関しては、それぞれの集落にトイレ管理委員会を設置し、使用規則や維持管理費の集金額について協議・決定し、運営されている。

また、ウィズアのワリティ小中学校トイレ管理委員会からの要望を受け、壊れていた3棟のうちの1棟（6室）のトイレの修繕を実施し、2024年3月に学校へ引き渡しを行った。

2024年度は、当会現地スタッフがこれらのトイレの使用状況、清掃状況、維持管理状況のモニタリングを毎月行った。毎月の使用料金を全世帯や生徒の保護者から徴収することに課題があるものの、各トイレの管理・清掃は適切に行われている。村の指導部にも介入を促しているが、今後は村を管轄する州レベルの機関にも適切な管理を呼びかける予定である。

これらのトイレ設置により、本事業実施前にウィズア村に12箇所あった屋外排泄場所が2025年3月時点では4箇所減り、8箇所になっている。

- ・日時 2024年4月～2025年3月
- ・場所 リベリア共和国バボル州ウィズア村
- ・従事者人員 6名
- ・受益対象者 ウィズア村スリップウェイ集落公共トイレの受益者147名
ウィズア村のマンディンゴ集落公共トイレの受益者210名
ワリティ小中学校の生徒及び教師約300名及び近隣世帯の23名
合計680名
- ・支出額 1,800,020円



清掃され使用されているトイレ（1号棟）



清掃され使用されているトイレ（2号棟）

オ ウィズア村小中学生に対する環境教育研修の実施及び衛生促進委員会活動支援

・内容

ゴミのポイ捨てや環境問題に対する啓発活動として、2022年度よりウィズア村にあるワリティ小中学校において、環境教育研修を実施している。リベリアに公的なゴミ収集サービスはなく、ごみのポイ捨てやゴミ処理の問題はウィズア村に限らず全国的な問題である。

2024度は1回あたり約35名の生徒に対して2025年2月、3月に2回環境教育研修を実施し、合計74名の生徒が参加した。継続的に本研修を実施していくため、ウィズア村の有志によって組成された衛生促進委員会(HPC)のメンバー3名に対して環境教育研修の講師育成のためのトレーニングを実施し、彼らが本環境教育研修で講師を務めた。研修はこれまで同様座学と屋外活動の2部構

成で、ゴミが人間や動物、環境に与える影響や地域をきれいに保つことの重要性を学び、実際にゴミ拾いとゴミの分別方法を体験してもらうことで生徒のゴミ処理に関する理解が深まった。研修の効果を測定するために事前テストと事後テストを実施し比較し、理解度の到達度合いを確認した。ウィズア村の有志が2022年に設立した衛生促進委員会（HPC）は、毎月第一土曜日午前中をクリーンキャンペーン（ゴミ拾い活動）の日とし、村長や村人の協力を得て2024年度にはHPCが中心となり11回クリーンキャンペーンを実施した。当会はその側面支援を行った。

- ・日時 2025年1月～3月
- ・場所 リベリア共和国バボル州ウィズア村
- ・従事者人員 6名
- ・受益対象者 ワリティ小中学生74名、衛生促進委員会のメンバー3名、教師、約80名
ウィズア村の中心部に住む村人 約3,000名 合計約3,080名
- ・支出額 950,100円



環境教育研修の様子



クリーンアップキャンペーンの様子

カ 採掘組合支援活動

・内容

当会ではウィズア採掘農業組合、バーマ多目的組合、キャンプアルファ多目的組合の運営能力強化を目的に、以下の活動に関して技術支援を実施した。

- ◆ 組合の年次報告書及び財務レポートの作成指導
- ◆ 組合の定期活動、定期会議開催の促進
- ◆ 基本的な記録作成方法の指導と記録確認、助言
- ◆ 組合が実施している活動のモニタリング、助言

- ・日時 2024年4月～2025年3月
- ・場所 リベリア共和国バボル州ウィズア村、バーマ村、キャンプアルファ村
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 ウィズア採掘農業組合員、バーマ組合員、キャンプアルファ組合員

合計約 60 名

・ 支出額 1,000,099 円



ウィズア採掘農業組合の会合の様子



バーマ多目的組合の会合の様子

③緊急支援事業

2024 年度は実施しなかった。

④その他の事業

2024 年度は以下の事業を実施した。

● 教育事業

依頼された講演の実施を行った。主な内容は、人権デューデリジェンス、人権や環境に配慮する責任ある調達である。

- ・ 日時 2024 年 5 月～2025 年 3 月
- ・ 場所 オンラインまたは講演場所
- ・ 従事者人員 2 名
- ・ 受益対象者 講演の参加者合計約 100 名
- ・ 支出額 83,000 円

● コンサルティング事業

評価案件をリベリアで実施する企業に対し、リベリア国内でコンサルティング業務を提供し調査を実施した。

- ・ 日時 2024 年 11 月～2025 年 3 月
- ・ 場所 オンライン及びリベリア
- ・ 従事者人員 2 名
- ・ 受益対象者 評価対象であった日本政府の支援により設置された公共事業案件の受益者約 50 万人
- ・ 支出額 820,118 円

以上